

行興大別特尾掉年本



◆問題の映畫愈々公開◆  
 大帝國キネマ二ヶ月を要したる苦心の大作  
 沖野岩三郎氏作(主婦の友連載)  
 現代 大 悲 劇 帝都聲樂界 江澤田鶴子 曠獨唱  
 文藝 のクイン

時代映畫連續大時代劇  
 白藤權八郎 後編  
 鮮血淋漓  
 舊劇 め組の辰五郎全巻  
 嵐瑠璃一派  
 帝キネ直營 有聲座  
 平南町電話四四六番

町平 町星 吉田眼科醫院

店員募集

でま才じ十りよ才四十  
 眞面目な商人を養成仕るべく  
 萬事家族的の待遇に候へば御  
 希望の向きに依り  
 御本人の給料、積立、に  
 付き御面談申上度く是非  
 御申込み願上候  
 尚ほ目下在學中に候へし場合は  
 雇入方を豫約致し置くも差支へ  
 無之候  
 平町鍛冶町(電話二二二番)  
 吉田由三郎

建築ペンキ塗  
 美術諸看板  
 硝子金銀文字  
 其他各種  
 大音堂  
 平町四丁目

小川郷産  
 御影石各種  
 玉石あり  
 リンク用の  
 砂利及び砂  
 中山岩 採掘  
 土木請負業  
 吉田石材商會  
 平町南町(火見下)  
 電話呼出二六七番



発行編輯人 川崎文治  
 印刷所 常盤毎日新聞社

刊夕日九十月二十

寄 書  
 年の瀨記 (下)  
 滿壽莊  
 何に此師走の市に行から  
 す はせを  
 からす勘左工門油買ひにか  
 茶買ひにか  
 町中の師走に交る雀哉  
 乙由  
 往き來るさの多忙の中をチ  
 ックチック飛びはす雀  
 の可愛らさよ  
 小傾城行きてなふらん年  
 のくれ 其角  
 の遊治郎に  
 行年の女歌舞伎や夜の梅

蕪村  
 山の奥にも松風の聲で此山  
 里も師走の風を吹きに吹く  
 かや  
 世につれて師走顔する草  
 家かな 一茶  
 人の心はいづくの里も變ら  
 ぬものか  
 行幸の牛洗ひけり年の暮  
 京に春をむかゆる年大原  
 の賤に問ふ事あり  
 の前書ある旬目出度新年  
 の行幸に御所車を曳く牛を  
 洗ひ居るとは此賤の男の幸  
 福如何ばかりぞやと其光榮  
 を祝福して筆を擱く  
 いざや寝ん元日は又あす  
 のこと  
 蕪村

公 告  
 大正十四年一月三十日午前九時ヨリ午後二時迄ニ於テ  
 本會豊間支部議員一名補缺選舉ヲ行フ  
 石城郡水産會長

歳末 年未年始の  
 御贈答に……  
 贈ふて床しいメリヤス  
 貰つて嬉しいメリヤス  
 贈答のメリヤスの廉賣  
 寒さを凌ぐにはメリヤス……  
 各種 山家メリヤス店  
 平 一丁目

ゼブラ 自轉車購買會  
 ブライム  
 ◎今回は何時でも御入會が出来升  
 ……景品付…… 恵比壽屋商店  
 平南町(電話呼三四四番)

メリミルク  
 玉の愛兒も  
 樂々肥る  
 メリミルク  
 製造 東京東  
 丸 子 子  
 内 子 子  
 社 子 子  
 一 子 子  
 日 子 子  
 ヤ 子 子

清酒 鶴仙  
 醸造元 石城郡平窪村  
 松吉屋本店  
 電話二四二番

### 感冒が流行する

#### 軽いことで油断は禁物

流行性感冒が時を違へずしてやつて来た學校にも會社にもお役所にも風邪引きの連中が續出して困つて居る。今年も寒さが早く来たので冬に入つて少しも雨らしい雨を見ないので

#### 空気は乾燥する

方で先月末から非常に風邪引きが多くなつて来てお醫者さんばかりが不景氣知らずで車を飛ばして御走の街を忙しがが居る。鼻がぐす／＼つまつて咽喉がイラ／＼痛むあるひはせきが出る。頭痛がして三十七度七八分位からの發熱が

#### 一週間 位續いてな

はる子供赤兒には胃腸を胃されて案外長びくものがあるが大抵一週間以内で回復してゐる右について磐城病院長市原卯太郎氏は「今年の流行性感冒も昨年のおどした相違はないやうですが多少傳染性を持つて居ます

#### 家内に 風邪引き患

者が出たら早速醫師の手當を受ける。同時に成るべく他の人と接近しない様にすることが大して安靜にして室内で土瓶や鍋をかけて湯氣を立て、室内の乾燥を

#### 調和す るのも忘れ

てはなりません。豫防法としては朝や夜の寒い風にあたるのが悪いのですからマス

するに當り毎日交替に組員出動作業に従事したのでいよ／＼去る十七日完成を見るに至つたと

### 農村は相當に景氣好く

#### 冬ゴモリの準備終る

生産費の償ひが出来た爲め 野村郡技師語る 石城郡内の農村は近年に珍らしく米價が四十圓臺を持

#### 農産物

が商人の手 に渡つてから値が出来年が多かつたが今年ばかりは處によつては早熟種もあつたので收穫季から値が出たので都會の不景氣を餘所にた／＼かいお正月を迎へられるとはまつ／＼めでたい哉

#### 豊かな

譯ではないがまあ都會よりも比較的人氣がよいと云ふのは近年農



香水の造り方

香水の種類は實に、多種であります。その中最も實用的で廣汎に用ゐられてゐるものはオーデオロンであります。これは一般香水と

### 豊間火防督勵

石城郡豊間村にては十七八の兩日薄曇及び沼の内の火防督勵を爲したと

### 經濟學講習

歸郷學生が

明大高野元君其他の東都遊學生が冬期休業に歸郷する機会とし平町に於てマルクスの經濟學研究會を開く由であるが教科書として著名の著作二種類を選ぶべく總べては四丁目マルトモ店に合問されたこと

### 不平受付

共同便所の電燈 前略小なる問題に有之候へ共有座前の共同便所電氣一箇月前より消燈致し居り夜間の不潔見るに不堪兩三度電話にて役場に注意致候も今以

### 暴風を警戒

#### 測候所の通知

平地方は今日正午頃から空が俄かに曇つて可成り激しい西風が吹き出したが小名濱測候所より暴風警戒の通知が平署にあつた

### 鹿島諸式舉行

石城郡鹿島村にては来る廿七日林野保護組合發會式金馬廉授與式無火災表彰式等を舉

ますが、各製造者はこれに種々の原料を加へ、また分量の増減をいたして、同じオーデオロンにしても、製造所によつて同一ではないのは勿論です  
ヘルガモット油、十四滴  
クエン油、卅五滴  
ネロリ油、廿滴  
ロクコロ油、十四滴  
アルコホル十二オンス半

### 常磐片々

東本縣土木課長栃木へ轉任と内定、栃木縣民は御用心を要す

今日西風烈しく暴風警戒の報知至る、當るも八卦當らぬも八卦

### 平町米實收

前年より減收 だが價格は増 平町に於ける本年の米植付反別は百十三町八反歩で第

### 病床に悩む

#### 老いの眼に感謝の涙

高木本社員が持參した 情けをこめた贈り物に 病妻に先立たれた爲め年端も行かぬ子供三人を抱いて

#### 悲惨な 生活にもが

いて居る事は去る十月頃の本紙に詳細是れを報道したが此程更らに二三の新聞に依つて報道されるに至つた爲め社會の同情、然として起り平町鍛冶町吉田屋呉服店主の夫人は

小供メリヤス上下、同絛一校、大人メリヤスシヤツ、同半襦袢、同縞衣一校、同縞ムジリ給一校、等の情けをこめた數々に金一封を添へ本社に對して贈與方を依頼し來つた爲め高木社員が是れを持參し同一家を見舞つた處老の眼に涙を浮かべて病床に起き直つて厚く其の同情を謝したと因に其後の同一家は大森

### 醫師の 同情ある

治療に依つて竹次郎の病勢も幾分減退するに至つたが平救世軍の手に依つて近く東京救世軍病院に入院する筈でありまた長男一(モ)は千葉の活版所に雇はれ次男

### 平町人事

▲出生  
△大工町一六 古内久助氏三女ノア子  
△紺屋町八 高橋要次氏次男甲一  
△胡麻澤一〇八 小野村幸二氏二女  
△鍛冶町二六 横山隆峰氏長女高子  
△材木町一四 鈴木定雄氏六女シズエ